



A Clear Vision For Life™

参天製薬株式会社

第106期 株主通信



あなたの笑顔に輝きを

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

証券コード: 4536

2017年度の売上収益は、初の2,000億円を突破。
「2014-2017年度中期経営計画」も目標を達成。



代表取締役会長兼CEO 黒川 明

代表取締役社長兼COO 谷内 樹生

基本理念

天機に参与する

基本使命

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

2017年度の業績

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

参天製薬グループの2017年度の業績は、売上収益では初めて2,000億円を突破、前年度から13.0%増の2,249億円になりました。また、本業での実力を示すコア営業利益は、前年度から14.3%増の454億円となり、過去最高益を達成しました。

国内・海外の各事業が好調に推移していますが、とりわけ海外事業の成長は著しく、アジア地域での

売上収益は前年度と比べて30.7%増加して309億円、EMEA*地域では22.1%増加して350億円となり、グループの成長を支える大きな柱となっています。

研究開発活動においても、ドライアイ治療剤であるジクアス点眼液が中国で承認され、既存の緑内障治療薬とは異なる作用機序を持つDE-117の製造販売承認の申請を日本で行なうなど、大きな進捗がありました。その他のパイプラインも予定通りに開発が進んでいます。

「2014-2017年度中期経営計画」の総括

参天製薬グループでは2020年度までの長期経営ビジョンとして、「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現を目指しています。

その実現に向けたステップとして、2014年からの中期経営計画では「海外売上高比率30%」を目標とし、「アジア・EMEAの成長と収益化」、「米国その他の事業の展開の準備」に取り組んできました。この目標を達成するため、Ikervisの欧州での発売など、事業の基盤となる自社開発を成功させただけでなく、2014年度の米国メルグ社からの緑内障製品買収、2015年度の抗リウマチ薬事業の譲渡、2016年度のInnFocus社の買収、といった案件を通じ、日本事業はもとより、アジア事業・EMEA事業も大きな成長を遂げ、2013年度末時点で約16%であった海外売上比率も2017年度末においては約30%に達しています。

また、世界最大の市場である米国にも、参天ならではのユニークな製品で参入するべく、具体的な準備活動にも着手しました。

このように、目標としていた項目で着実な成果を上げ、世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニーの実現に向けて大きな一歩を踏み出すことが出来ました。

* ヨーロッパ、中東およびアフリカ

配当方針

参天製薬グループでは、株主様への利益還元を経営上の重要課題と位置付け、今後も、安定的・持続的な配当を実施していく考えです。2017年度の配当は中間配当13円、期末配当13円、計26円とさせていただきます。2018年度においても、中間配当13円、期末配当13円を予定しています。

新・代表取締役社長兼COOの就任

参天製薬グループでは、この2018年度から長期経営ビジョンの実現に向けた新たなステップがスタートしています。このスタートにあたり、EMEA事業の責任者であった谷内樹生が代表取締役社長兼COOに就任しました。新社長のこれまでの経験と若い力を活かしてグループの実行力を高め、世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニーの実現に向けさらに成長を続けてまいりますので、株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO

黒川 明

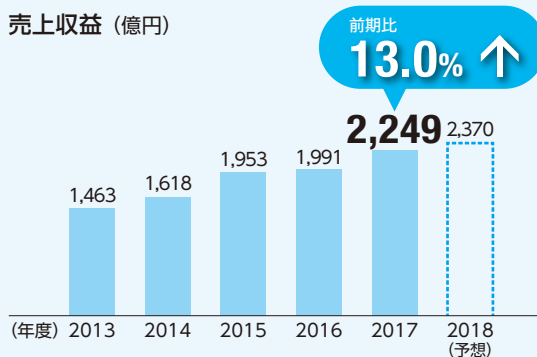
谷内 樹生 プロフィール

1973年生まれ
1996年4月 参天製薬入社
2007年9月 イギリス ケンブリッジ大学
経営学修士(MBA)取得
2008年11月 参天製薬(中国) 有限公司営業本部営業総監
2011年4月 アジア事業部事業企画・管理室長
2012年4月 企画本部 経営企画室長
2014年1月 企画本部 副本部長
2015年4月 執行役員、欧州(現 EMEA) 事業統括 兼
Santen Holdings EU B.V. 社長
2016年4月 常務執行役員
2017年6月 取締役
2018年4月 代表取締役社長兼COO(現任)

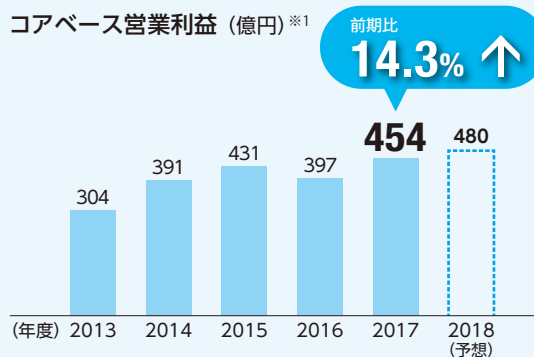
連結財務ハイライト

主な経営指標

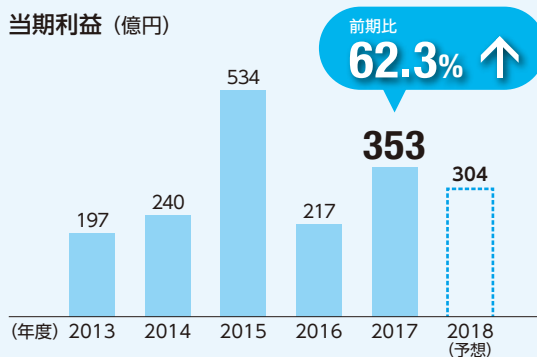
売上収益 (億円)



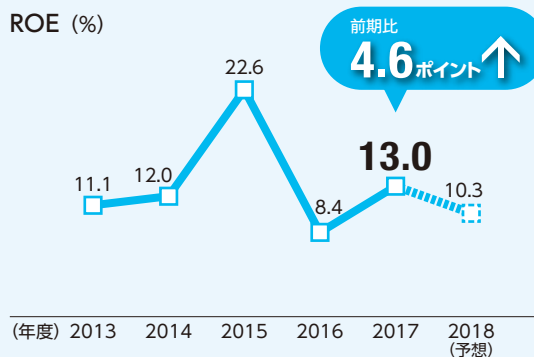
コアベース営業利益 (億円)^{※1}



当期利益 (億円)



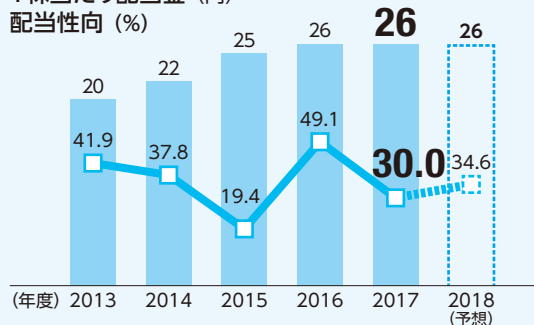
ROE (%)



研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円)^{※2}



※1 IFRSフルベースから一部の収益・費用(製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用)を控除した、コアベース(経常的な業績を示す)による数値です。

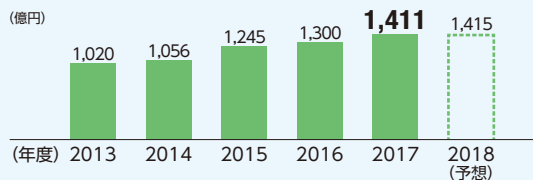
※2 2015年4月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割しました。2014年度以前の数値については、分割後の株式数に基づき遡及的に算出しております。

事業別の概況

国内 医療用医薬品事業

売上収益は、前期比8.5%増の1,411億円となりました。主力製品では、網膜疾患治療剤領域の「アイリーア^{※3}」が515億円(前期比14.1%増)、抗アレルギー点眼剤領域の「アレジオン」が169億円(同37.7%)と伸長しました。

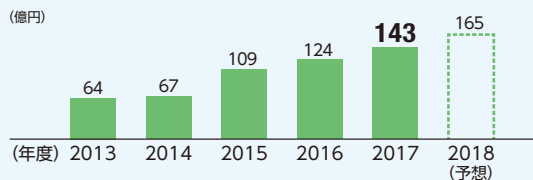
売上収益



国内 一般用医薬品事業

インバウンド需要の取り込みに加え、「サンテボーティエシリーズ」、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品が好調を維持し、売上収益は前期比15.1%増の143億円となりました。

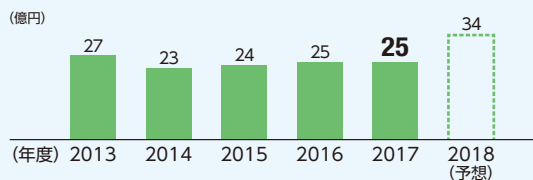
売上収益



国内 サージカル事業

売上収益は、前期と比べ0.5%増加し、25億円となりました。高屈折率のアクリル素材を光学部に用いたフォールドブル眼内レンズ「エタニティ」シリーズの普及促進活動に引き続き注力しています。

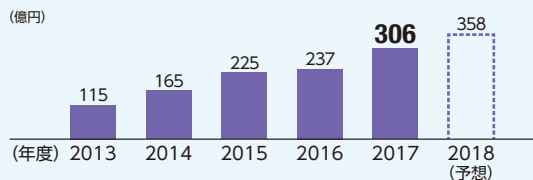
売上収益



海外 アジア事業

売上収益は、円換算ベースで前期比28.9%増の306億円でした。「ヒアレイン」、「クラビット」等主力品の普及促進活動の展開により、中国や韓国を中心に成長するとともに、アセアン諸国でも高い成長率を維持しています。

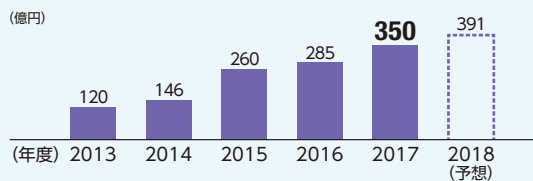
売上収益



海外 EMEA事業

売上収益は、円換算ベースで前期比22.7%増の350億円でした。医薬情報提供などの普及促進に注力した結果、「タフロタン」などの緑内障・高眼圧症治療剤や、角結膜疾患治療剤「アイケルビス」が市場に浸透しています。

売上収益

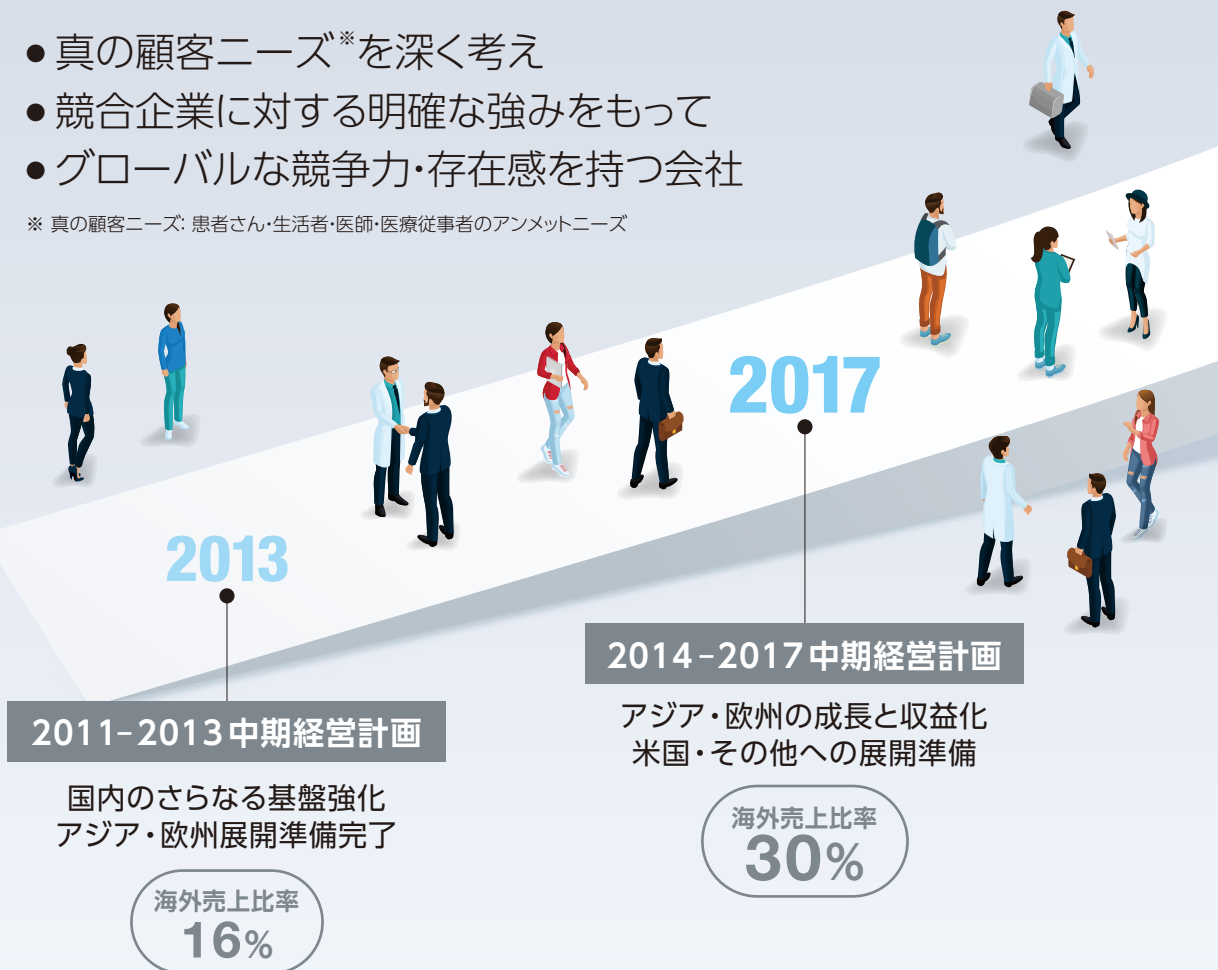


※3 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

「世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニー」を実現し 持続的成長につなげていきます。

- 真の顧客ニーズ*を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

※ 真の顧客ニーズ: 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ





さらなる
持続的成長へ

2020

参天製薬は2018年6月、新しい中期経営計画「MTP2020」を策定しました。「MTP2020」では、「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」を実現するため、以下の3つの目標を設定し、その達成を目指していきます。

「MTP2020」

世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー

売上成長率

6%以上
(年平均成長率)

コア営業利益率

21%以上
(期間平均)

フルROE

11%以上
(期間平均)

地域特性に合わせた事業展開で、市場を上回る成長を実現

日本

アジア

EMEA

米国

「2014-2017年度中期経営計画」のもと、 着実な成果を積み重ねました。

2014.5

米メルク製品を承継

米国メルク社が有する眼科製品を譲受し、緑内障・高眼圧症治療剤の製品ラインアップが大幅に強化されました。

2015.5

リウマチ事業を譲渡

眼科領域におけるスペシャリティ・カンパニーとして専門性をさらに高めるとともに、リウマチ領域における患者さんのニーズに持続的に貢献していくため、リウマチ事業をあゆみ製薬に承継しました。

2014

2014.11

タップコムを発売

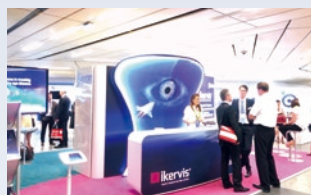


緑内障の患者さんに
新たな治療の選択肢
を提供

2015

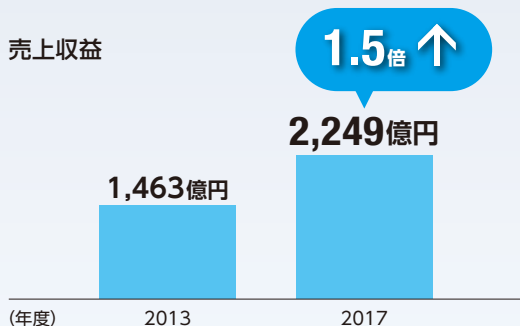
2015.7

欧州でIkervisを発売

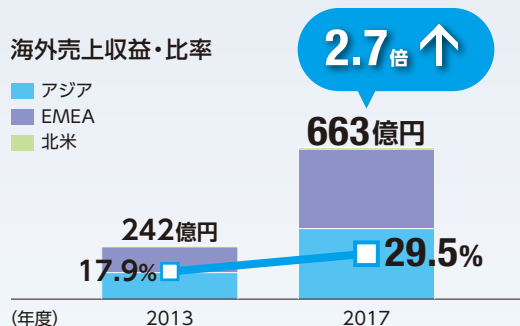


欧州のドライアイ患者
さんの未充足ニーズを
満たす新たな医薬品を
上市

売上収益

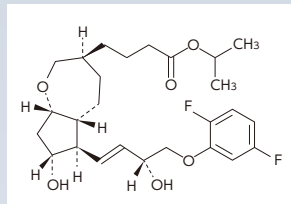


海外売上収益・比率



2016.3

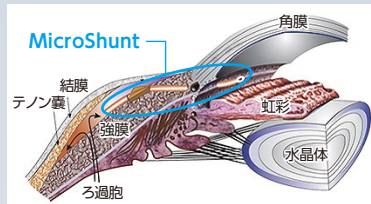
DE-126を導入 (小野薬品工業より)



新規メカニズムを持つ緑内障治療薬として期待される「DE-126」

2016.8

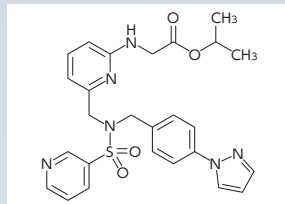
InnFocus社を買収



開発中の緑内障用デバイス「InnFocus MicroShunt」

2017.11

日本でDE-117の承認を申請



宇部興産と共同開発してきた緑内障治療薬「DE-117」

2016

2017

2016.10

サンテメディカルシリーズ 発売



サンテメディカル 12

サンテメディカル
ガードEX

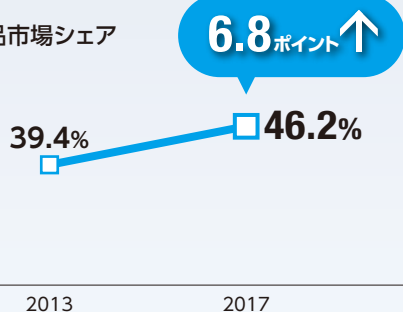
サンテメディカル
アクティブ

2018.3

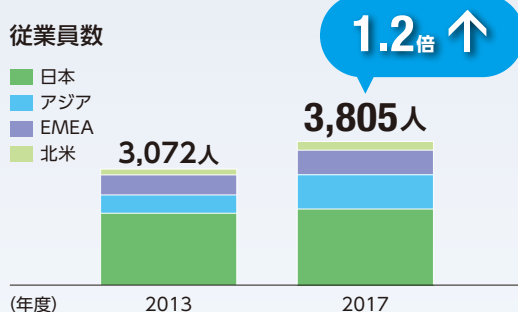
連結売上 2,000 億円を突破

2017年度の売上収益は2,249億円に達し、中期経営計画最終年度の目標としていた2,050億円を10%以上超過で達成しました。

日本医薬品市場シェア



従業員数



医療ニーズに合わせた研究開発を推進

参天製薬では、眼科に特化した研究開発を推進しています。特に、治療薬がまだ世界的に十分普及していない「角結膜疾患」や、患者数が増えつつある「緑内障」および「網膜疾患」を重点領域として、医薬品の開発を行っています。

医薬品の開発状況(臨床段階)

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 網膜・ぶどう膜疾患領域 ■ その他疾患領域 2018年5月9日現在

開発コード	一般名	効能・効果	地域	臨床試験*			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-117	オミデナパグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	米国	■					
			日本				2017年11月		
			アジア	■					
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	■ フェーズ2b					
			日本	■ フェーズ2b					
DE-128 (InnFocus MicroShunt)	-	緑内障	米国	■ フェーズ2/3					
			欧州	■					
DE-130A (カチオプロスト)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州	■					
DE-076B (シクロカット)	シクロスポリン	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	米国	■					
			アジア					2017年12月	
DE-076C(ベカシア)	シクロスポリン	春季カタル	欧州				2016年12月		
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	中国				2017年10月		
DE-114A	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本	■					
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国	■					
			日本	■					
			欧州	■					
			アジア					2015年4月	
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国	■ フェーズ2a					
DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	アジア	■					

※ 臨床試験：フェーズ1からフェーズ3までの3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。続くフェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。最後のフェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

TOPICS トピックス

2017年度「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®」に入賞

2018年2月、参天製薬は一般社団法人日本取締役協会が主催する2017年度「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®」のWinner Company (入賞企業)に選ばれました。

この表彰は、コーポレートガバナンスを用いて中長期的に健全な成長を遂げている企業を応援するために贈られるものです。今回の審査対象は2015年から2017年を通じて社外取締役を3人以上選任している企業356社でしたが、そのうちの4社が入賞しました。

2018年2月19日に東京都内で開催された表彰式では、審査委員の伊藤邦雄氏(一橋大学大学院商学研究科特任教授)より、参天製薬の



コーポレートガバナンスに対する多彩な取り組みと社外取締役の積極的な活用について、高い評価の言葉をいただきました。

参天製薬はこれからも、コーポレートガバナンスの向上に努めていきます。

FacebookとTwitterの公式アカウントを開設

参天製薬は2017年度に、FacebookとTwitterの公式アカウントを開設しました。

公式ウェブサイトと連動してニュースリリースを配信するほか、動画サイト「参天製薬 立川らく朝のアイケア斬」など、人気ウェブコンテンツの紹介にも活用していきます。ウェブサイトとSNSを連携させることで、情報発信の手段を増やすとともに、タイムリーに情報をお届けすることができます。

株主の皆さまからのフォローや「いいね!」をお待ちしております。



<https://www.facebook.com/SantenOfficial/>



<https://twitter.com/santenofficial>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載 URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL:0120-094-777

会社概要 (2018年3月31日現在)

社名	参天製薬株式会社
本社	〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号
創業	1890年
設立	1925年
資本金	8,032百万円
工場	能登、滋賀、他
研究所	奈良研究開発センター、他
従業員数	3,805名(連結)

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL: 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報 IR)

Email: ir@santen.com

URL: <http://www.santen.co.jp>



ホームページに最新の情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

参天製薬株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。